

# 雄峰高校家庭クラブ 親切運動の取り組み 「地域の防災力UP 大作戦！」

富山県立雄峰高等学校 家庭クラブ

## 1. 親切運動の取り組みを考えるにあたって

雄峰高校が位置する愛宕地区は神通川がすぐ近くにあり、雄峰高校は地区の避難場所に指定されています。しかし、本校の生徒や教員には、我が校が避難場所だという認識は薄く、このままでは災害に対応できないのではないかと考えました。

そこで、家庭クラブという小さな集団から、学校全体、地域へと防災意識を広げ、学校と地域が一体となって防災力を向上させること目指し、活動を行いました。

## 2. 活動の紹介

### (1) 防災ボトルワークショップ



家庭クラブの生徒が集まり、災害時の備えについて学び、防災ボトルを作るワークショップを行いました。

防災ボトルとは、プラスチックの飲料用ボトルに、カイロやミニ懐中電灯、携帯トイレ、ホイッスル、非常食などを詰め込んで持ち歩き、外出先での災害に備えるものです。

ボトルに色々な物を詰め込みながら、「現金も入れておいたら良いね」「頭痛薬も必要かな」など、生徒それぞれが災害時を想定しながら、どんな備えが必要か考えるきっかけとなりました。



### (2) 家庭クラブ学習会「避難所の高校生にできること」



東日本大震災の際、地域の中高生が小さな子どもたちの遊び相手となり、不安を和らげ、子どもの安全を守ったという事例から、「避難所の高校生としてできることを考える」「何も無くても遊びを生み出す」ことをテーマに、生活文化科の生徒全員で学習会を行いました。身体を動かし、コミュニケーションを取りながら子どもとできる遊びを考えました。

### (3) 愛宕地区ふれあい朝市で防災備蓄の呼びかけ



「防災について学んだことを地域の方々にも伝えたい」という思いから、毎年雄峰高校のピロティで行われる「愛宕ふれあい朝市」に家庭クラブ員が参加し、イベントのお手伝いをしつつ、地域住民の皆さんに防災備蓄を呼びかけるパンフレットを配布しました。

住民の皆さんの中には、高齢者のみの世帯も多く、日頃から繋がりを持ち、いざというときに助け合える関係作りをしていくことが必要だと分かりました。

## 3. 親切運動に取り組んで

今年度は地域の防災力の向上を目指し、様々な親切運動を行いました。この活動を通して、「地域のために高校生がすべきことは何か」を考えるよいきっかけとなりました。来年度以降も、この活動を続けていきたいと思えます。